

各 位

会 社 名 株式会社 TWOSTONE&Sons
代表者名 代表取締役 CEO 河端 保志
(コード番号：7352 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 経営戦略本部長 加藤 真
(TEL. 03-6416-0057)

TWOSTONE&Sons グループの株式会社サイバーセキュリティクラウドとの 業務提携に関するお知らせ

株式会社 TWOSTONE&Sons (以下 TWOSTONE&Sons) のグループ会社である株式会社 TWOSTONE Sync (本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：宮崎 晃成、以下 TWOSTONE Sync) は、Web セキュリティ事業を展開するグローバルセキュリティメーカーの株式会社サイバーセキュリティクラウド (本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO：小池 敏弘、以下 サイバーセキュリティクラウド) と業務提携いたしました。

本提携により、TWOSTONE Sync はクラウド型 WAF「攻撃遮断くん」をはじめとする Web セキュリティサービスの提供を開始いたします。また、TWOSTONE&Sons グループが有する IT 人材ネットワークと、サイバーセキュリティクラウドが有するセキュリティ製品・専門知見を組み合わせ、顧客企業の Web セキュリティ対策を、導入から継続的な運用までを支援してまいります。

記

サイバーセキュリティクラウドは、Web サイトや Web アプリケーションへの攻撃を検知・遮断するクラウド型 WAF「攻撃遮断くん」、AWS・Azure・Google Cloud の WAF の運用を自動化する「WafCharm」、脆弱性情報収集・管理ツール「SIDfm」、パブリッククラウド環境フルマネージドセキュリティサービス

「CloudFastener (クラウドファスナー)」などを提供する Web セキュリティ企業です。今回の業務提携では、TWOSTONE Sync はこれらのサービスを、企業の事業戦略・セキュリティ方針の策定から導入、運用の定着まで含めてひとつの窓口でご提供します。TWOSTONE Sync が顧客企業の課題整理・方針策定・サービス選定・定着支援を、サイバーセキュリティクラウドがセキュリティ製品の提供と技術支援を担います。

さらに、TWOSTONE&Sons グループの IT 人材ネットワークと、サイバーセキュリティクラウドの専門知見・技術力を掛け合わせることで、顧客企業の多様なセキュリティ課題に対応し、Web セキュリティの継続的な運用を支援してまいります。

1. 背景

① AI の悪用や脆弱性を狙う攻撃に備え、対策を継続する重要性が高まる

Web サイトやクラウド上のサービスは、重要な事業基盤となっています。一方、IPA (独立行政法人情報処理推進機構) の「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」解説書 [組織編] では、組織向けの脅威として「AI の利用をめぐるサイバーリスク」が初選出で第 3 位、「システムの脆弱性を悪用した攻撃」が第 4 位に位置づけられています (※1)。こうした脅威に備えるには、脆弱性や設定不備など、自社のシステムに潜むリスクを把握し、優先度に応じて対策を講じることが重要です。ソフトウェアの更新・改修によって脆弱性を解消するとともに、WAF による攻撃の検知・遮断やクラウド環境の設定の見直しを組み合わせ、変化する脅威や

システム環境に合わせて対策を継続することが求められます。

② 製品の導入に加え、運用を続けられる体制づくりが課題

セキュリティ対策は、製品を導入すれば完了するものではありません。導入後も、WAF の検知状況の確認や必要に応じたルール調整、新たな脆弱性情報への対応、システムの変更に伴う設定の見直しなどが必要です。一方、サイバーセキュリティ人材は国内で約 11 万人不足しているとされ（※2）、専門人材や運用に充てる時間の不足は、企業がセキュリティ対策を継続するうえでの課題となります。

Security を重点領域の一つに置く TWOSTONE Sync は、セキュリティ方針の策定を、現場で実行・継続できる対策につなげることが重要だと考えています。本提携では、TWOSTONE&Sons グループの IT 人材ネットワークと、サイバーセキュリティクラウドのセキュリティ製品・専門知見を組み合わせることで、顧客企業の体制に応じた導入・運用・定着支援を進めることで、セキュリティ人材不足という社会課題の解決に貢献してまいります。

2. 今後の展開

TWOSTONE&Sons グループは、AX（AI トランスフォーメーション）支援を軸に、企業の変革を実行まで支援しています。AI の活用が広がるほど、守るべき領域も広がります。TWOSTONE Sync は本提携を通じて、Security 領域において「見つける（脆弱性の検証）」から「守り、運用し続ける（防御と運用）」まで、本年 10 月 8 日に提供開始した AI ペネトレーションテスト（※3）と併せ、一貫したご支援体制を整えてまいります。

3. 代表者コメント

株式会社サイバーセキュリティクラウド 代表取締役社長 兼 CEO 小池 敏弘氏

セキュリティは、お客様が安心して新たな挑戦を続けるための事業基盤です。その価値を十分に発揮するには、製品の導入にとどまらず、お客様の事業や現場に即した運用へとつなげることが重要だと考えています。今回の提携では、当社が培ってきたセキュリティ技術・専門知見と、TWOSTONE Sync の戦略立案から実行・定着まで伴走する力、そして TWOSTONE&Sons グループの IT 人材ネットワークを組み合わせることで、より多くの企業に継続的な安心を届けてまいります。両社の強みを生かし、お客様がセキュリティ上の不安に足を止めることなく、事業の成長に取り組める環境づくりを支援してまいります。

株式会社 TWOSTONE Sync 代表取締役 CEO 宮崎 晃成

戦略は、実行され利益につながって初めて意味を持ちます。セキュリティも同じで、方針を描くだけでは守れません。サイバーセキュリティクラウドの実績あるプロダクトと運用ノウハウを組み合わせることで、お客様の守りを「絵」ではなく「仕組み」として定着させるご支援ができるようになります。当社は Security を重点領域の一つに置き、お客様が安心して事業を前に進められるよう、両社で取り組んでまいります。

4. 株式会社サイバーセキュリティクラウドについて

「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」をミッションに掲げ、世界有数のサイバー脅威インテリジェンスを駆使した Web アプリケーションのセキュリティサービスを軸に、脆弱性情報収集・管理ツールやクラウド環境のフルマネージドセキュリティサービスを提供している日本発のセキュリティメーカーです。私たちはサイバーセキュリティにおけるグローバルカンパニーの 1 つとして、サイバーセキ

セキュリティに関する社会課題を解決し、社会への付加価値提供に貢献してまいります。

<https://www.cscloud.co.jp/>

※1：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）の「『情報セキュリティ 10 大脅威 2026』解説書 [組織編]」
（https://www.ipa.go.jp/security/10threats/omgdg50000008fi8-att/kaisetsu_2026_soshiki.pdf）より

※2：経済産業省「サイバーセキュリティ人材の育成促進に向けた検討会」最終取りまとめ（2025 年 5 月）
（<https://www.meti.go.jp/files/900017551.pdf>）にて引用される民間調査（2023 年）に基づく推計

※3：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000388.000015060.html> より

以 上